

国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携推進機構／株式会社ブルックマンテクノロジー
8K UHD / 8K Super Hi-Vison CMOS image sensor

本学電子工学研究所イメージングデバイス研究室では、新しい機能や従来にない性能を備えたイメージセンサ、センサ信号処理回路とその集積化、画像用・通信用アナログ回路及びミックスドシグナル集積回路等に関する研究を行っています。

同研究室の川人祥二教授は、研究成果をいち早く世に送り出して社会貢献したいという強い思いから、2006年2月に静岡大学発ベンチャーとして株式会社ブルックマン・ラボ（現在は、株式会社ブルックマンテクノロジー）を起業しました。以来、株式会社ブルックマンテクノロジー（以降、BT社と記載）は、数多くのCMOS集積回路、イメージセンサの開発・設計の仕事を手がけており、その一つが、今回ご紹介する8K用CMOSイメージセンサBT3300N（※）です。

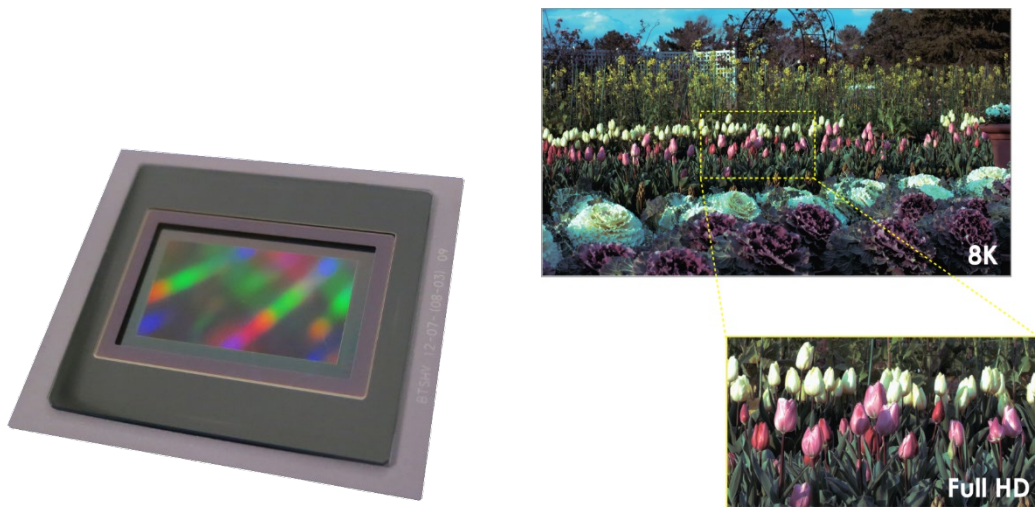
BT3300Nは、世界で初めてスーパーハイビジョンのフルスペック規格に対応した、33メガピクセル（7,688（横）×4,328（縦））の画素数を持つCMOSイメージセンサになります。同センサは、120fpsのフレームレートを有するため、動きのあるシーンに対応できるほか、低ノイズ、低消費電力といった特長を有しています。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでの様々な競技の撮影に活用されることが期待されるほか、医療手術、科学実験、セキュリティ・監視、工業製品検査等の幅広い応用が考えられます。

BT社は、今回ご紹介したセンサ以外にも、「瞬間」を撮影できる超高速度イメージセンサBT033A/BT130A、「暗闇」を撮影できる超高感度イメージセンサBT130C/BT200C、さらには「距離情報」を取得できる測距イメージセンサBT008D等を販売しており、これらのセンサには静岡大学からライセンスした数々の特許が使用されています。

今後も、本学とBT社は深い協力関係を築いて、“誰もできないこと”、“誰も

やらなかったこと”にチャレンジし、世の中に貢献できる新しいイメージセンサの開発を行って参ります。

※ BT3300N は、NHK 放送技術研究所、静岡大学及び BT 社の共同開発の成果によるものです。



詳細情報のアクセス先

・ 国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携推進機構

<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北 3-5-1

TEL:053-478-1702 FAX:053-478-1711

・ 株式会社ブルックマンテクノロジー

<http://brookmantech.com/>

〒430-0936 静岡県浜松市中区大工町 125 番地

TEL:053-482-7741 FAX:053-482-7742